KAKUDAI

シングルレバー シャワ混合栓

壁付タイプ　取扱説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この取扱説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、シングルレバーシャワ混合栓をお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

製品同梱明細

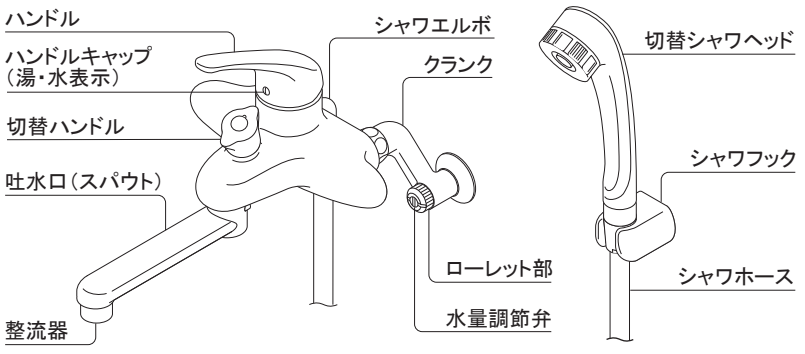
■この取扱説明書の製品同梱明細は各機種ごとに表示しておりますので、施工される際に各部材をご確認のうえ、施工説明書と合わせてご使用ください。

品名	本体	スパウト	クランク（2コ）	クランクカバー(2コ)	座金（2コ）	シャワヘッド	シャワフック(2コ)	シャワホース	シャワフック用ビス(4コ)
143-001	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
143-011	○	ー	○	○	ー	○	○	○	○
143-011K	○	ー	○	○	ー	○	○	○	○
143-012	○	ー	○	ー	○	○	○	○	○
143-012K	○	ー	○	ー	○	○	○	○	○

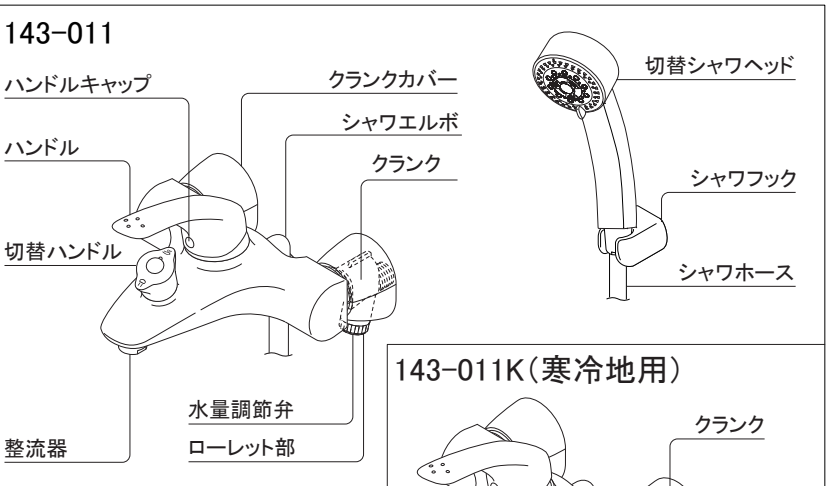
＊上記部材に加えて、
・●取扱説明書　●施工説明書　●安全上のご注意　●六角レンチ　●保証書
・を同梱しています。

各部のなまえ

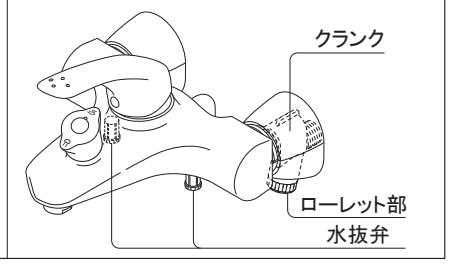
143-001



143-011



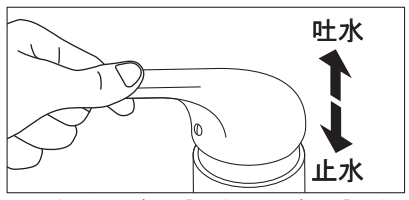
143-011K（寒冷地用）



使用方法

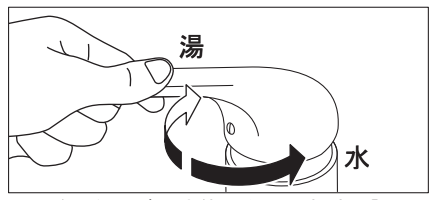
●ハンドルの操作方法

吐水・止水



ハンドルを上げると「吐水」、下げると「止水」します。

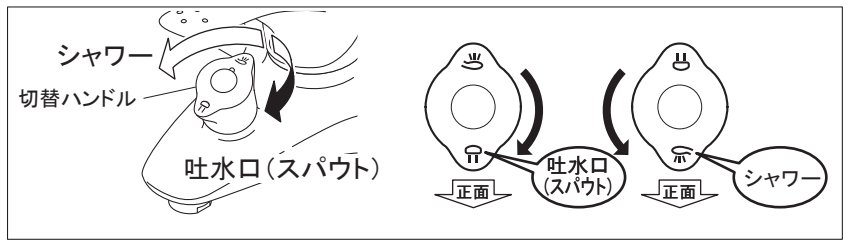
湯・水



ハンドルを上げた状態で左にまわすと「湯」、右にまわすと「水」が出ます。

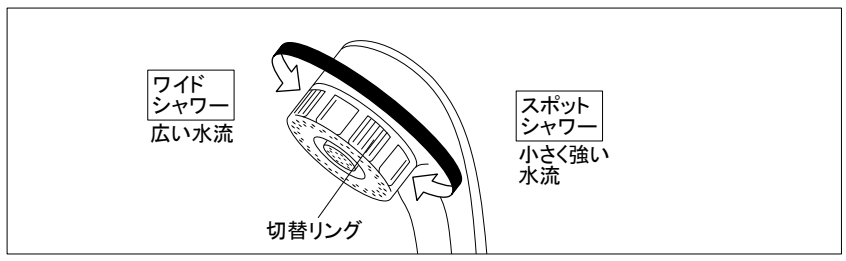
●湯をご使用の際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へまわし、お好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
●ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に操作しますとウォーターハンマー(衝撃音)が生じ、配管から水もれを起こす恐れがあります。

●切替ハンドルの操作方法



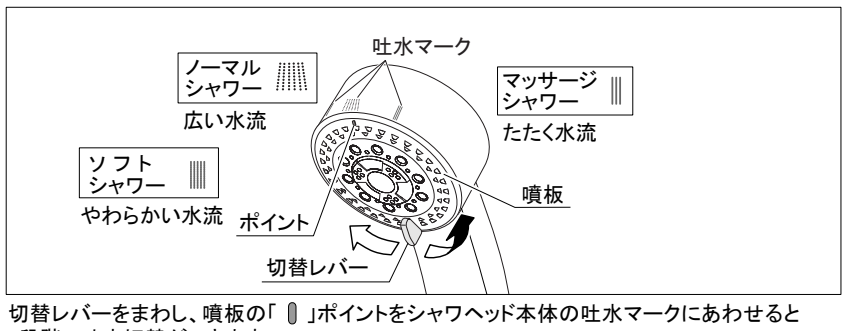
切替ハンドル右方向にまわすと「吐水口（スパウト）より吐水」、左方向にまわすと「シャワーより吐水」します。
＊ハンドルは360°回転しません。

●切替シャワヘッドの操作方法（143-001）



切替リングをまわすと、お好みの水流をご使用になれます。

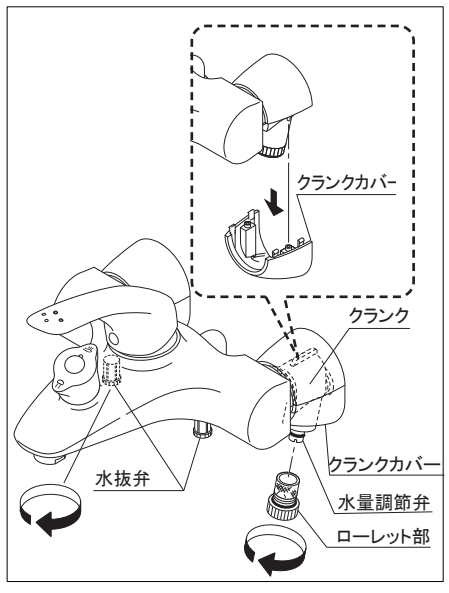
●切替シャワヘッドの操作方法（143-011(K)・143-012(K)）



切替レバーをまわし、噴板の「 」ポイントをシャワヘッド本体の吐水マークにあわせると3段階で吐水切替ができます。

●寒冷地用の水抜き方法(143-011K・143-012K)

凍結の恐れがある場合は、ご使用後水抜きを行ってください。



①配管の水抜き栓を操作して、水が出ないようにします。
②ハンドルを中央位置で上げ、吐水状態にします。
③湯側クランクのローレット部を取外し、水を抜きます。混合栓下部にも水抜弁が付いていますので、ここも取外して水抜を行います。
＊作業しづらい場合は、下側のクランクカバーを取外してください。
＊水量調節弁が外れる場合があります。そのときは、水量調節弁を元の位置に戻してください。

＊クランクの形状が違う商品も水抜き方法は同じです。

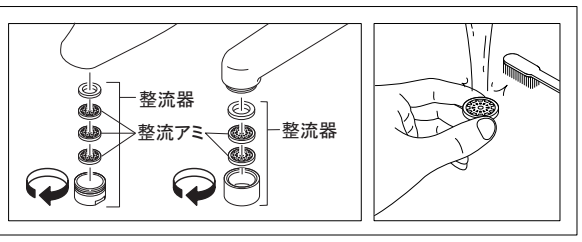
⚠ 湯側の水抜きをされる際は、クランクやローレット部が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

裏面へ続く➡

お手入れのしかた

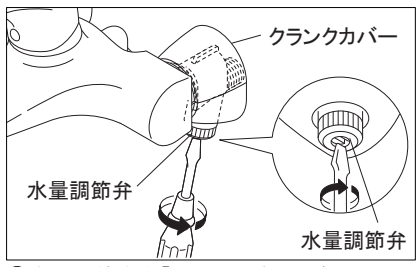
お願い

最初ご使用になっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、整流アミ、ストレーナーを取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

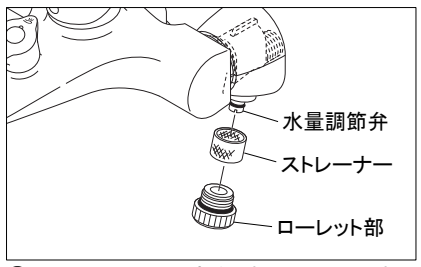


●ストレーナーのお掃除(143-011(K))

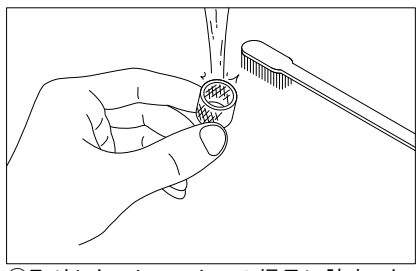
⚠ ●ローレット部を取外す際は、クランクやローレット部が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。
●必ず水量調節弁をしっかりと締付けて作業を行ってください。湯水が出て、やけどや家財などを濡らす恐れがあります。



①水量調節弁を「マイナスドライバー」で湯・水側ともに締付けます。
＊この時何周で止まったかを覚えておいてください。
＊クランクカバーに穴が開いていますので、そのままでも作業できますが、作業しづらい場合はクランクカバーを取外してください。

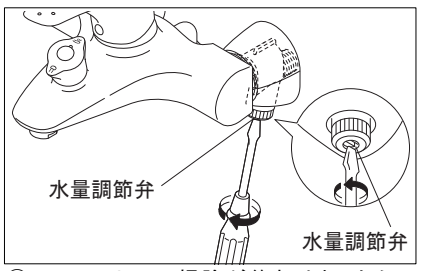


②クランクのローレット部をまわして取外します。
＊ローレット部を取外す際、水量調節弁が外れないようにご注意ください。



③取外したストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシなどで軽く洗い流します。

⚠ ストレーナーで指などをケガしないように注意してください。



④ストレーナーの掃除が終わりましたら、ローレット部を②の逆の手順で取付け、水量調節弁を覚えておいた回転数だけまわして元の位置まで開きます
＊①でクランクカバーを取外した場合は、取付け直してください。

●器具のお手入れ

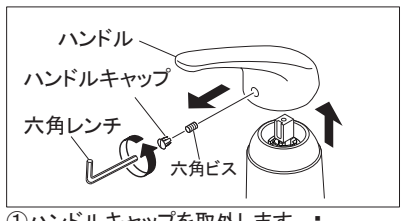
いつまでも美しくご使用いただくために。

- 水栓器具の金属部は…
  ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…
  乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

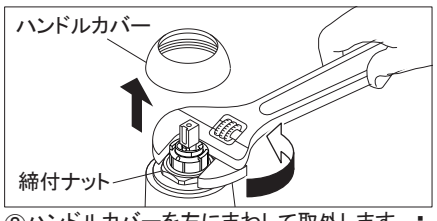
⚠ 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

カートリッジの交換方法

＊作業の前に、必ず止水栓または元栓を閉めて止水してください。

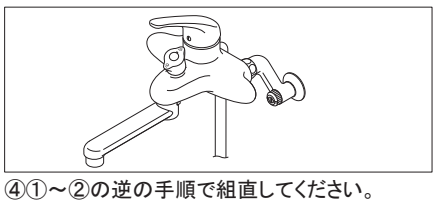


①ハンドルキャップを取外します。▪
付属の「六角レンチ」で六角ビスを取外し、ハンドルを上方向へ抜取ります。



②ハンドルカバーを左にまわして取外します。▪
締付ナットに「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。

③古いカートリッジを抜取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンがついているのを確認してから、底の凸部が混合栓本体の凹部に合うように差込んでください。

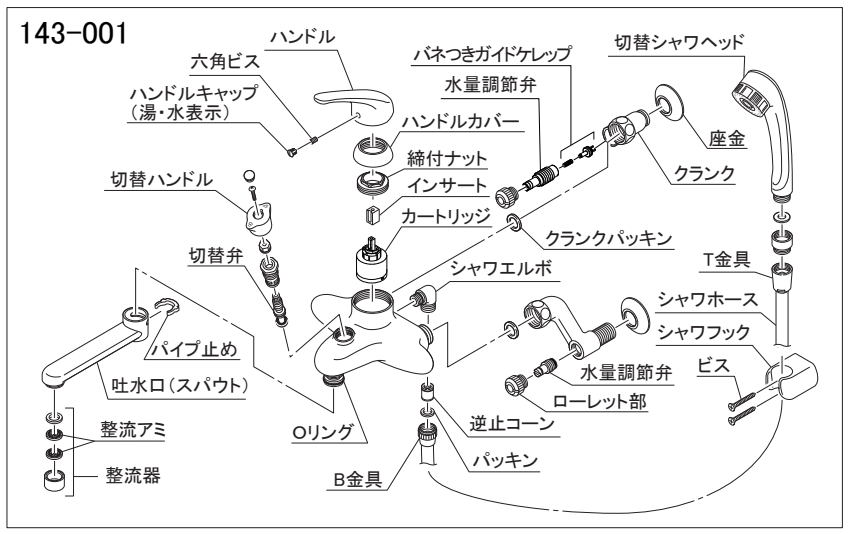


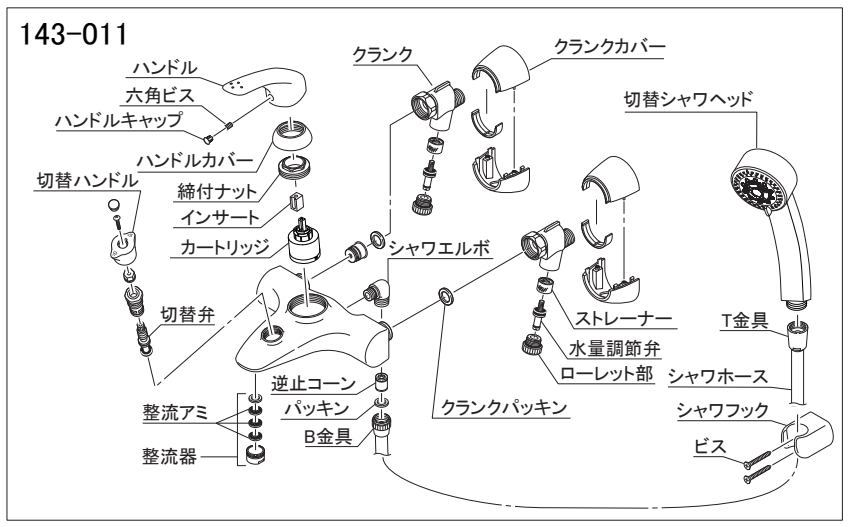
④①～②の逆の手順で組直してください。

＊取付け後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず漏水がないかを確認してください。

取付け時の注意
●ベースパッキンがあることを確認してください。
●カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部に合わせてください。
●締付ナットは適度な力で締付けてください。(締付けすぎるとハンドルが操作しづらくなります。)

分解図





＊品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
＊製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

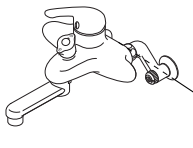
こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、上記分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象		原因	対処のしかた
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の水量調節弁が閉まっている	●適正水量になるまで水量調節弁を開く
		●整流器の目詰まり	●整流器のゴミを取除く
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない	●湯・水の元バルブを開く
		●湯・水側の水量調節弁が閉まっている	●適正水量になるまで水量調節弁を開く
止水不良	止水できない	●ハンドルに異物が付着している	●異物を取除く
		●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する
	ハンドル下より水もれ	●締付ナットがゆるい	●締付ナットを締める
		●ベースパッキンの異常	●ベースパッキンを交換する
	吐水口回転部付近から水もれ	●Oリングの摩耗または損傷	●Oリングの摩耗または損傷
	切替ハンドルをシャワー側にした時、吐水口(パイプ)の先端から水もれ	●混合栓切替弁のパッキンにゴミが付着	●パッキンのゴミを取除く
		●混合栓切替弁のパッキンの摩耗または損傷	●切替弁を交換する
	切替ハンドルを吐水口(パイプ)側にした時、シャワーヘッドから水もれ	●混合栓切替弁のパッキンにゴミが付着	●パッキンのゴミを取除く
		●混合栓切替弁のパッキンの摩耗または損傷	●切替弁を交換する
	切替ハンドル部からの水もれ	●混合栓切替弁の締付けがゆるい	●切替弁を締付ける
		●混合栓切替弁のOリングにゴミが付着	●Oリングのゴミを取除く
		●混合栓切替弁のOリングの摩耗または損傷	●切替弁を交換する
高温しか出ない		●水側の水量調節弁が閉まっている	●水側の水量調節弁を調節する
		●給水圧より給湯圧の方が高い	●水量調節弁を調節する
低温しか出ない		●湯側の水量調節弁が閉まっている	●湯側の水量調節弁を調節する
		●給湯圧より給水圧の方が高い	●水側の水量調節弁を調節する
		●給湯器の能力(給湯器の異常)	●別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください
操作しづらい		●ハンドルのガタつき	●付属の「六角レンチ」でハンドル後部の六角ビスを締直す
ハンドルがかたい		●締付ナットの締めすぎ	●締付ナットを適度な力で締直す
		●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する

本体内蔵のシングルレバーカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

●修理を依頼されるときは



上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルで確認してください。

＊＊ JIS ＊
000-000 ← 品番

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1－4－4 ☎(06)6538-1124

M-A9921J
0310GF

無断転載・複写を禁ず